

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2024」国際交流事業

日本・ミャンマー 日本語・日本文化交流

日本人大学生・大学院生派遣プログラム（オンライン・対面）

参加者募集

2024年6月

一般財団法人 日本国際協力センター

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）では対日理解促進交流プログラム「JENESYS」（対象国：ASEAN 諸国および東ティモール）の実施団体として青少年交流事業を企画・運営しています。この度、ミャンマーとの国際交流プログラムに参加いただける大学生・大学院生参加者を募集します。現在ミャンマーは渡航不可のため、オンラインプログラム・対面プログラムの両方を日本国内で実施する予定です。ミャンマーの学生も日本学生との交流を大変楽しみにしていますので、奮ってご応募下さい。

I. プログラム概要

1. 事業概要

(1) 概要

対日理解促進交流プログラムは、日本政府（外務省）が推進する人的交流事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣又はオンライン交流を行うものです。

JENESYS2024 派遣事業は、対日理解促進交流プログラムのうち、アジア大洋州の各国・地域を対象とした事業です。日本とASEAN 諸国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス）および東ティモールの11ヶ国との間において、将来を担う人材（高校生、大学生・大学院生、社会人等）を1年間でおおよそ130人、原則として8日間程度派遣します。

(2) 目的

日本とASEAN 諸国との間で、対外発信力を有し、かつ将来を担う人材を派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、日本への関心・理解・支持を拡大し、また、日本の外交姿勢や魅力等について、本事業参加者から積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としています。

2. 派遣国・応募要件等

(1) 応募資格

- 日本人大学生・大学院生であり、
- 派遣国であるミャンマーに関心があり、ミャンマーと日本の関係や生活文化等を知りたい方
- 日本語・日本文化の魅力を効果的にミャンマーの交流者へ伝えることが出来る方

(2) 対象国、テーマ、人数、実施日程

派遣国	テーマ	人数	本プログラム実施日程 ※詳細は(3)標準日程参照
ミャンマー	日本語・日本文化交流	約 50 名※高校生との混合プログラムとなる場合があります。	2024/12/2-12/13 のうち平日計 6 日間程度 (1 回 2 時間-2 時間半)

(3) 標準日程 (詳細は別紙 3 参照)

- ・プレプログラム (平日 3 日間程度、各 2 時間~2 時間半を予定)
プレプログラムでは、国内での対面交流も予定しています。
- ・本プログラム (平日 6 日間程度、各 2 時間~2 時間半を予定)

プレプログラム (オンライン・対面)			
1 回目	8 月後半実施予定	オンライン	初回オリエンテーション
2 回目	9 月実施予定	オンライン	ミャンマー理解講義、テーマ関連講義など
3 回目	10 月~11 月実施予定	対面実施	JENESYS ミャンマー人参加者との交流、ビルマ語体験、フィールドワーク
本プログラム (オンライン)			
1 日目	オリエンテーション、バーチャル市内視察、ビルマ語講座、バーチャルホームビジット等		
2 日目	独立行政法人国際協力機構 (JICA) ミャンマー事務所による講義等		
3 日目	学生交流① (ミャンマー人学生との交流)		
4 日目	学生交流② (同上)		
5 日目	報告会準備		
6 日目	報告会		

※プレプログラム (計 3 回)、本プログラム (6 日間) 全てへの参加が必須。

※プレプログラム 1 回目は 8 月下旬に 11 カ国合同で実施、2 回目以降は国毎に実施予定。

※上記以外にも、適宜、JICE 担当者との打ち合わせを行う可能性があります。中間ミーティング等あり。

※プログラムの内容については、変更が生じる可能性があります。

※ミャンマー人学生との交流で活用いただける「日本語 ⇄ ビルマ語会話帳」をお渡しします。

※全てのプログラムに参加した方には「修了証」をお渡しします。

(4) 実施方法

プレプログラム 1 回目~2 回目、本プログラム：オンラインツール「Zoom」使用

プレプログラム 3 回目：対面実施 (実施場所未定)

(5) 参加者必須課題

以下の事前準備、プログラム中の活動、事後活動は全て参加者の必須課題です。

① 事前準備

- ・ ミャンマー (歴史、文化、社会、政治、経済、宗教、民族等) についての事前学習
- ・ 日本 (政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等) や在住地域についての事前学習
- ・ プレゼンテーションや実演を行う準備

- ・ プレプログラム、中間ミーティング（準備状況の確認等実施）への参加
- ・ 事前学習に関する SNS 等での発信
- ・ プレプログラム参加後アンケートの回答

②プログラム中の活動（本プログラム実施中）

- ・ 英語もしくは現地語を用いた日本の魅力についてのプレゼンテーションおよび実演の実施
※学校交流等の際、ミャンマーの学生に日本に興味・関心を持ってもらえるよう、テーマに関する日本の魅力を、パワーポイントを用いたプレゼンテーションと実演で紹介する。（プレゼンテーション・実演を合わせて1時間～1時間半程度で実施）
- ・ プログラム中の体験や日本の魅力を英語や各国言語を用いて SNS 等で発信（1日1回以上）
- ・ 毎日の「気づき」の記録
- ・ ワークショップの実施（プログラム中の気づきの共有とアクション・プラン※の作成、報告会準備）
- ・ 報告会の実施（気づきおよびアクション・プラン※の発表）
- ・ 参加中アンケートの回答
※アクション・プラン：プログラム中の学び・経験をもとに、プログラム実施後、派遣団各々が日本とミャンマーとの関係継続・向上に資する活動を行う計画のこと。

③事後活動（本プログラム終了後）

- ・ プログラム終了3ヶ月後アンケートの回答
- ・ アクション・プラン実施報告書の提出（終了後3ヶ月以内に実施）

（例） ・ 来日する招へい者との交流を実施

- ・ 高校・付属中学・大学、在住地域等での報告会実施
- ・ 新聞や広報誌へ参加経験、日・派遣国の友好・関係向上に資する展望を寄稿
- ・ 日本の文化や生活（日本への留学・就職情報含む）を英語・現地語で定期的に発信
- ・ 日本語レッスンの開催（オンラインや対面にて）
- ・ オンラインジャパンツアーの開催（日本や在住地域の紹介）
- ・ 日本と派遣国の相互理解のための文化行事の開催 等

(6) 参加者条件

以下項目を全て満たしている者が派遣団選考の対象となります。本事業は、個人単位での受付とします。

- ① 派遣時に正規過程に在籍する大学生・大学院生であり※1、本事業の趣旨・目的を理解した上で、事前準備、プログラム中の活動、事後活動を確実にやり、日本の代表としての行動が期待できる者（年齢35歳以下）。
- ② 日本国籍を有する者。日本に居住する外国籍の者の応募については、その旨を要申告。
- ③ 日本政府の実施または推進する派遣事業※2において参加経験がない者。ただしオンラインプログラム参加者は可。
- ④ SNS での対外発信ができる程度の英語力または、ビルマ語を学んでいる者。
- ⑤ ミャンマーに興味・関心・学ぶ意欲を有し、日本とミャンマーとの交流において積極的に友情を育める者。また、日本の外交姿勢等に関する日本の概要・魅力等を正しく紹介・発信できる者。
- ⑥ テーマについて効果的に発信できる者。
- ⑦ 後述の「IV.本プログラム参加における責任範囲」、別紙1の「個人情報の取り扱い」に同意できる者。

※1 所属大学・大学院発行の在籍証明書を以て、在籍を確認します。

※2 海外渡航プログラム例：対日理解促進交流プログラム（JENESYS、カケハシ・プロジェクト、Juntos!!）、海外留学支援制度、トピタテ！留学 JAPAN（官民協働海外留学支援制度）、内閣府青年国際交流事業等

II. プログラム費用

無料

※ただし、インターネット接続費用、プレゼンテーションや実演に必要な資材等の費用は参加者負担となります。

III. 応募方法

1. 応募について

個人単位での受付となりますが、ミャンマー派遣プログラムについてはグループでの参加も受け付けいたします。大学のグループ（例えばゼミ等）での参加を希望される場合は、事前に「V.問い合わせ先」にあるメールアドレスまでご連絡ください。ただし、個人とグループ両方での応募はできませんのでご注意ください。

(1) 応募締め切り： **2024年7月21日（日） 18:00**

(2) 応募方法：

- 以下の申し込みフォームのリンクから必要事項を入力し、送信してください。同時に募集している他国の派遣プログラムも希望される場合には、すべてのプログラムの中から第1～3希望まで選択可能です。
申し込みフォーム：<https://jice.form.kintoneapp.com/public/aseanef-outbound2024>
- 以下の応募時提出書類については上記サイト内にアップロードにてご提出ください。
 - ※ 応募時提出書類に不備がある場合、審査対象外となります。
 - ※ 「在籍証明書」については、参加が決定次第取り付けの上、ご提出をお願いいたします。応募時には必要ありませんのでご注意下さい。

(提出書類)

- 顔写真（iPhoneの方は拡張子を「.heic」ではなく、JPEGにして提出してください）
- プログラム中の責任範囲の同意（別紙2）
- 個人情報の同意（別紙2）
- 事務手続きの協力確認（別紙2）

(合格決定後提出)

- 在籍証明書

※ご提出いただいた応募書類は返却しません。当課にて大切に保管します。

2. 選考方法

書類選考

※応募書類の記載内容について、確認のため、電話またはメールで連絡をする場合があります。

※渡航プログラムへも応募される方については、渡航プログラムの選考方法に準じ、インタビューを受ける流れへと変更となります（渡航プログラムの募集要項をご参照ください）。

オンラインプログラムであるミャンマーのみをご希望される方は書類選考のみとなりますが、電話で簡易なインタビューをさせていただく可能性もあります。

3. 選考結果通知

選考結果については、本派遣事業に申込みをした全ての応募者に対してメールにて8月上旬を目途に通知します。

なお、応募者は、選定の理由については不問とし、選考結果については異議を申し立てることができません。

IV. 本プログラム参加における責任範囲

1. 各国の事情等やむを得ない事由により、プログラム日程が変更される場合があります。
2. 本プログラムへ参加されるにあたり、授業を休む場合の扱いや単位認定については、所属する大学/大学院にご相談の上、ご判断ください。

V. 問い合わせ先

〒163-0716 東京都新宿区西新宿二丁目 7 番 1 号 新宿第一生命ビルディング 16 階

一般財団法人 日本国際協力センター 国際交流部青少年交流課 JENESYS 派遣担当

メール: jenesys-haken@jice.org

※申込に関するお問合せの際は「JENESYS2024 大学生・大学院生派遣事業」の照会とお申し出ください。

■ 一般財団法人日本国際協力センター（JICE）とは ■

一般財団法人日本国際協力センター(JICE)は、1977年の設立以来、主に開発途上国を対象とした国際協力事業に関する業務を行ってまいりました。現在は開発途上国を含む世界145カ国・地域と我が国との互惠関係の強化に資する事業を通じて、国際社会の発展に寄与することを目的とした事業を行っています。

主な事業は、外務省をはじめとする中央官庁、独立行政法人国際協力機構（JICA）、大学、地方自治体、公益法人、企業、国際機関および外国政府等の国際研修運営、国際交流、留学生受入支援、通訳派遣、日本語研修、コンベンション・セミナー、プロジェクト支援、開発教育支援事業です。

JICEでは329名の事務スタッフに加え、31言語に対応した1,086名の専門スタッフが、これまでの経験・知見を十分に活かして、各事業の案件形成、調査、研究、実施および評価を行っています。JICEは「知をつなぐ。世界をつなぐ。未来をつなぐ。」をキャッチフレーズに、心と言葉で「日本の技術・知識・経験」をつなぎ、世界の人々と、共に学びあい、理解を深めながら、各国の将来を担う人材育成に取り組んでいます。

2024年6月

参加者の皆様へ

一般財団法人日本国際協力センター
個人情報保護管理責任者（事務局長）

個人情報の取扱いについて

当センターでは、プライバシーマークを取得しており、個人情報の適切な取扱いを期しています。皆様には、下記の事項をご理解いただき、個人情報の提供にご同意いただきますようお願い申し上げます。

今回、以下の業務を目的として、皆様の個人情報を取得しています。それ以外の目的で皆様の個人情報を利用することはありません。

- (1) 本事業にかかる参加調整
- (2) 海外渡航、旅行手続き
- (3) 各種資料やアンケートの送付/回収
- (4) 緊急連絡
- (5) 事業実施報告書や広報媒体（ホームページ、年報、広報誌、SNS アカウント等）への写真掲載
- (6) その他、当センターが実施する国際研修運営や留学生受入れ支援、国際交流、多文化共生、開発教育、コンベンション・セミナー等の事業に関する情報提供やご案内

プログラムの効果的・円滑な実施、ホームステイ・ビジットプログラムの際の適切なマッチング等のため、個人情報の中には、職業、家族構成（ご家族の名前、続柄、年齢、性別、職業/学校名等）、事業実施期間中に当センターまたは第三者が撮影をさせていただく写真・映像も含まれます。

また、当センターが JENESYS2024 プログラムを遂行する上で、下記の条件で皆様からお預かりした個人情報を書面による手交、郵送、FAX またはメールにて提供する場合があります。

	提供する個人情報項目	提供目的	提供先
(1)	氏名、年齢、生年月日、性別、電話番号、メールアドレス、学校名、語学資格/経験、団体活動/国際交流事業/渡航経験、健康状態、応募理由、自己 PR、銀行口座	実施運営上の参加者情報の共有、参加者の選考、アンケートの実施、JICE 事業関連資料の作成	派遣事業実施運営関係機関（外務省、派遣国日本大使館、ASEAN 事務局等）、および実施運営関係者、旅行会社、講師、視察先の企業・団体・交流先の学校関係者、ホストファミリー、印刷関連業者、参加者間
(2)	事業実施期間中に当センターまたは第三者が撮影をさせていただく写真・映像	事業実施後に当センターにて作成を行う実施報告書や当センター広報媒体（ホームページ、Facebook、インスタグラム、年報、広報誌等）、外務省広報媒体への掲載	

当センターへの個人情報の提供は皆様の自由なご判断に任されます。ただし、個人情報の一部を提供していただかない場合は、JENESYS2024 プログラムにおいて適切な判断ができないことがあります。皆様には、当センターに提出していただいた個人情報について、利用目的の通知、個人情報の開示、訂正、項目の追加・削除、また個人情報自体の消去や利用停止、提供停止を求める権利があります。自己の個人情報の開示等の請求を行いたい場合は、下記の間合せ先までご連絡ください。

(個人情報相談窓口) 一般財団法人日本国際協力センター 総務部 個人情報相談窓口
TEL : 03-6838-2702 (平日 9:30~12:30、13:30~17:30) / E-mail : privacy@jice.org

(JENESYS2024 プログラムに関するお問合せ先)
一般財団法人日本国際協力センター 国際交流部 青少年交流課
電話 : 03-6838-2730 (平日 9:30~12:30、13:30~17:30) / E-mail: jenesys-haken@jice.org

対日理解促進交流プログラム JENESYS2024
大学生・大学院生 ミャンマー派遣プログラム同意書

プログラム中の責任範囲の同意

募集要綱に記載の「IV.本プログラム参加における責任範囲」に同意いただける場合は口枠にチェック 函してください。

2024 年 月 日

同意する

氏名 _____ (印)

※必ずご捺印下さい。

個人情報の同意

別紙1に記載の「個人情報の取り扱い」に同意いただける場合は、口枠にチェック 函してください。

2024 年 月 日

同意する

氏名 _____ (印)

※必ずご捺印ください。

プログラム実施にかかる協力確認

以下をご一読いただき、各項目に同意いただける場合は、口枠にチェック 函してください。

- インターネット環境を整備して万全の状態プログラムに参加します。
- 事前準備、プログラム中の活動、事後活動は積極的に行い、必要書類は期限内にJICEへ提出します。
- 派遣プログラム開始以前に諸事情で連絡がつかない期間がある場合は、JICEスタッフへ報告します。
- やむを得ない事由以外によるプログラムへの遅刻・欠席はしません。

2024 年 月 日

氏名 _____ (印)

※必ずご捺印ください。

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2024」
日本・ミャンマー 日本語・日本文化交流
高校生、大学生・大学院生オンライン派遣プログラム標準日程案

			プログラム	ねらい・内容
プレプログラム (計3日間、各日2時間～2時間半)				
1回目	全カ国合同 (オンライン)	2時間半	【オリエンテーション】初回オリエンテーション (JENESYS概要、参加者ミッションの説明他) 【講義】ASEANに関する講義	JENESYSの概要、参加者ミッションを説明し、参加者としての自覚と意欲を高める。派遣国であるミャンマーだけでなく、ASEANについて、日ASEANの関係について理解する。
2回目	国毎 (オンライン)	2時間	【講義】派遣国理解講義	ミャンマーについて、また、ミャンマーと日本の関係性について学び、理解を深める。
3回目	国毎 (対面)	2時間	【交流】ミャンマーから来日するJENESYS参加者との交流 (予定) ビルマ語体験、フィールドワーク	交流を通じて日本の魅力を紹介すると共にミャンマーについて理解を深める。
オンライン本プログラム (計5～6日間) 各日2時間～2時間半				
1日目	12/未定	0.5時間	オリエンテーション	事業主旨・目的を再確認し、プログラム参加者としての自覚・意欲を高める。
		1時間	【視察】バーチャル市内視察、ビルマ語講座	ミャンマーの代表的な歴史/文化遺産や名所の訪問を通じて、ミャンマーの歴史・文化・社会・人々に対する理解を深め、日本とミャンマーとの今後の関係/展望について考察する一助とする。
		0.5時間	【ホームビジット】	ミャンマーの家庭訪問を通じて、現地の生活事情を学ぶ。
		1時間	【交流】JENESYS招へい同窓生との交流	JENESYS招へいプログラムに参加した同窓生との交流を通して、JENESYS事業としてのネットワークを構築する。
2日目	12/未定	1時間半	【講義】独立行政法人国際協力機構 (JICA) ミャンマー事務所	国際社会におけるODAの現場 (技術協力プロジェクト、ボランティアの活動等) を視察し、関係者や現地の人々との交流を通して、日本の役割、派遣国支援、国際協力の在り方等について考える。
3日目	12/未定	2時間半	【学生交流】① ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・質疑応答 ・ミャンマー学生からのミャンマー紹介プレゼンテーション ・質疑応答	日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等について紹介プレゼンテーションと実演を行い、現地の同世代の学生が日本を理解し、日本の魅力を体感し、日本への関心を持つきっかけ作りを行う。また、現地の学生からもミャンマーについてプレゼンテーションをしてもらい、相互理解を深める。そして、両国の関心事項や今後の展望につき意見交換を行い、友情を育む機会とする。
4日目	12/未定	2時間半	【学生交流】② ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・質疑応答 ・ミャンマー学生からのミャンマー紹介プレゼンテーション ・質疑応答	
5日目	12/未定	2時間	【ワークショップ】報告会準備 (渡航成果のとりまとめ、帰国後の活動計画 (アクション・プラン) の作成)	プログラム中の学びを共有し、アクション・プラン (プログラム参加後の活動案) について話し合いを行い、プログラム関係者に報告する内容をまとめる。
6日目	12/未定	1時間	【報告会】渡航成果・帰国後のアクション・プラン発表	プログラム中の学び、アクション・プランについて、日本大使館・現地交流関係者等へ報告する。

※プログラムの内容・日数等は変更が生じる可能性があります。